

## 令和8年度 副首都推進局運営方針

(所属長：西島 亨)

「目標」「使命」及び「所属運営の基本的な考え方」	
目標	東西二極の一極、さらに、複数の都市が日本の成長をけん引する新たな国の形を先導する「副首都・大阪」の実現のための取組の推進
使命	<ul style="list-style-type: none"> <li>副首都化に係る企画及び立案並びに推進並びにその総合調整を担う</li> <li>大阪の発展をけん引する「知の拠点」をめざす公立大学法人大阪の設立団体として、府市一体の法人管理を行い、法人の機能強化を図る</li> </ul>
令和8年度所属運営の基本的な考え方	<ul style="list-style-type: none"> <li>「副首都ビジョン」を指針として、府市一体を核にオール大阪で大阪の副首都化が推進されるよう取組を進める</li> <li>府市一体条例のもと府市一体の行政運営を推進する</li> <li>副首都法案について、国の動きを注視しながら、副首都・大阪の実現に向けた取組を進める</li> <li>公立大学法人大阪の中期目標の達成に向け、中期計画を推進する同法人の取組を支援する</li> </ul>

重点的に取り組む経営課題							
経営課題1 副首都・大阪の実現							
		6決算額	18百万円	7予算額	37百万円	8予算額	164百万円
課題認識	<ul style="list-style-type: none"> <li>副首都ビジョンを指針とした副首都化の推進</li> <li>防災庁本庁が令和8年度中に設置されたのち、同庁の地方機関が大阪に設置されるよう国に働きかける必要がある</li> <li>府市一体条例のもと府市連携・一体的な行政運営の推進</li> <li>国における副首都法案の進捗状況を踏まえ、副首都・大阪の実現に向け、取組を進める必要がある</li> </ul>						
主な戦略 (課題解決の方策)	<ul style="list-style-type: none"> <li>副首都・大阪の実現に向け、当局が司令塔役となって、副首都ビジョンに基づく世界標準の都市機能の充実やチャレンジを促す経済政策に関する取組の推進及び進捗管理を進める。また、大阪自らの安全・危機管理機能の強化のうえに、首都機能のバックアップに向けた取組を進めるとともに、防災庁の地方機関が大阪に設置されるよう、大阪の強みなどを国に働きかける</li> <li>府市一体条例のもと、副首都推進本部（大阪府市）会議を開催するとともに、同会議で協議・合意した取組の具体化に向け、進捗管理を行う</li> <li>副首都法案について、国の動きを注視しながら、大阪がめざす副首都のあり方や国に働きかける具体的措置について検討を進める</li> <li>副首都・大阪にふさわしい大都市制度協議会において、広域行政を一元化した強力な広域自治体と、地域の実情に応じた住民に身近なサービスに専念する基礎自治体の設置に向けた具体的な制度設計を進める</li> </ul>						
評価指標 (経営課題の解決に向けた進捗度を示した指標)	<ul style="list-style-type: none"> <li>副首都ビジョンの目標達成（2030年：大阪のGDP国内シェア約9%・経済規模約50兆円、副首都・大阪の府民認知度60%以上）に向け、副首都ビジョンの具体化を図る取組が進んでいる</li> <li>副首都・大阪の実現に向け、大阪がめざす副首都のあり方や国に働きかける具体的措置の検討や副首都・大阪にふさわしい大都市制度協議会での検討などが進んでいる</li> </ul>						
評価指標 の達成状況	8年度実績と達成状況 ※A：達成 B：未達成				前年度実績		

## 経営課題2 大阪公立大学の「知の拠点」に向けた取組支援

		6決算額	35,284百万円	7予算額	21,184百万円	8予算額	21,131百万円
課題認識	<ul style="list-style-type: none"> <li>・グローバル化や少子化など大学を取り巻く社会情勢がめまぐるしく変化し、ますます大学間競争の激化が見込まれている中、設立団体である府市が世界の都市間競争を勝ち抜いていくためにも、大阪公立大学の価値を一層高める必要がある</li> <li>・大阪公立大学が、府市の両大学が統合して開学した幅広い分野を有する総合大学として、大阪の都市課題の解決や産業競争力の強化に貢献するには、大学統合による効果を最大限に発揮する必要がある</li> <li>・あわせて、これまで以上に府市一体の法人管理を行うとともに、より緊密に公立大学法人大阪と連携する必要がある</li> </ul>						
主な戦略 (課題解決の方策)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学士課程への秋入学導入などによる国際力強化や、森之宮キャンパスに秋入学課程や情報学分野等を配置する学舎整備など、広く優秀な学生や研究者を集め、多くの企業等と連携できる環境整備を行う</li> <li>・「都市シンクタンク機能」、「技術インキュベーション機能」を充実・強化し、大学発スタートアップの創出などにより、大阪の産業競争力の強化などに貢献する</li> </ul> <p>以上の大阪公立大学の取組を支援する</p>						
評価指標 (経営課題の解決に向けた進捗度を示した指標)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学士課程への秋入学導入などによる国際力強化の取組や、大学発スタートアップ創出支援などを含む第2期中期目標の達成に向け、大学での中期計画の取組が進んでいる状態</li> </ul>						
評価指標 の達成状況	8年度実績と達成状況 ※A：達成 B：未達成				前年度実績		

自己評価 (運営方針全体の定性評価)	
-----------------------	--

今後の方針	
-------	--